

治安・安全情報（家庭内暴力（DV）被害、人種差別に対する抗議デモへの注意喚起）

【メールマガジン 2020 年 7 月号から抜粋】

（1）家庭内暴力（DV）被害にご注意ください

当地の専門家が、家庭内暴力（DV）の被害が潜在的に増加していると分析しています。この背景には、新型コロナウイルスによる在宅時間の増加や、各種規制によるストレスの蓄積があるそうです。

DV 被害が深刻化した結果、命に危険が及ぶまでに至った例は少なくありません。

当地警察は、DV 事案の特徴的な傾向として

○加害者が暴力行為の後、被害者に謝罪するため、加害者の反省を期待した被害者が被害申告をためらう

○その結果、暴力行為がますますエスカレートする

と指摘した上で、こうした加害者の傾向は簡単に改善することではなく、被害に遭った場合はすぐに警察に通報するよう呼びかけています。

被害に遭われた方や被害を認知された方は、被害が深刻化する前に、警察に通報をお願いします。

※通訳を介した日本語での通報（無料）も可能です。その場合、下記通報先をダイヤルし“Japanese translation please”と依頼してください。

【通報先】

- ・警察緊急電話「000」
- ・Police Assistance Line（緊急時以外）「131-444」

（2）人種差別に対する抗議デモにご注意ください

去る 5 月、米国ミネソタ州にて黒人男性のジョージ・フロイド氏が白人の警察官に首を膝で押さえつけられ、窒息死するという事件が発生しました。この事件以降、全米をはじめとした多くの国で人種差別に対する抗議デモ（通称「Black Lives Matter（BLM）デモ」）が拡大しています。

当地でも先住民に対する人種差別と絡めた BLM デモが行われており、6 月 6 日（土）にシドニー中心部タウンホール前で行われたデモには約 2 万人が参加、6 月 12 日（金）に同じくタウンホール前で行われたデモには約 300 人が参加しました。

特に、12 日に行われたデモについては、警察へのデモ許可申請なく決行された違法デモであり、参加者の 1 人がデモの最中、警察の制止指示に従わなかったとして逮捕されています。

現在、当地警察は、新型コロナウイルス拡散防止の観点から、大人数が密集する形態のデモについては許可を与えておりませんが、このように警察の許可を受けずにデモが行われる可能性もあり、また、世界に目を向けると、デモに過激主義者が加わったことで、過激な

デモに発展し、警官隊との衝突による負傷者や死者の発生につながったケースもあります。さらに、こうしたデモが新型コロナウイルスの感染拡大を媒介する可能性もあります。

当地に滞在されておられる皆さまにあっては

○デモに近づかない

○デモに遭遇した場合はすぐにその場を離れる

ことを徹底していただくとともに、万一被害に遭われた場合には、警察に通報（「000 番」）するとともに、当館にご一報ください。